

普及現地情報

発信年月日：令和2年（2020年）3月18日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C19049
部門分類：350 組織経営
発信者名：野村、河村、山下、蒲原、濱谷、
小椋

集落営農法人の次世代継承をすすめるため、 むらの将来をむら全体で話し合う「地域診断」を実施

甲賀市甲賀町神「(農)楽農ファームかむら」において、集落の農業にかかわる人を増やすことを目的に、集落の未来を考えるワークショップを2月24日に開催し、当課はファシリテータ役として神地区の「地域診断」の実施を支援しました。また、併せて甲賀地域農業センター担い手支援班の主催により「地域農業・農村の持続発展を考える研修会」が開催され、他地区の集落営農法人の代表者も神地区の「地域診断」の実施の様子を見学しました。

「地域診断」は、甲賀市甲賀町神地区の里山かむら交流館で開催され、管内の集落営農法人の代表者と神地区の自治会、農事改良組合、まると保全団体の関係者など計77名が参加しました。午前中に、「かむらの再発見」と題して、スライド上映とむらの「見て歩き」が行なわれ、午後からは5つのグループに分かれてワークショップを行い、「残していきたいかむらの姿」をまとめ、各グループから発表が行われました。

「地域診断」を見学した「地域農業・農村の持続発展を考える研修会」の参加者からは、「地域診断の一連の流れを実際に見せてもらい、集落営農の将来を考えていくためには、自治会組織とも連携していく必要があると感じた。」との意見がありました。

農産普及課では、今後も「地域診断」の取組の啓発と取組拡大に取り組めます。



「見て歩き」での
楽農ファームかむらの説明



当課職員による各班の
ワークショップのまとめ発表